

平成 18 年 4 月 23 日 第2回 さくらの会

神経難病病棟の定期的なイベントに『桜の会』があります。これまでは、ALS の患者様を中心に行なってきましたが、今回は病棟全員の方を対象に3日間に分けたイベントです。



ボランティアさんによる箏(こと)



桜と雪が同時に観れました

初企画として、4月20日(外には桜と雪が同時に観れた)と25日の午後は、当院1階コミュニケーションホールにて6名のボランティアさんによる箏(こと)の調べと尺八演奏会です。ガラス越しでのお花見でしたが幻想的な世界に浸り、懐かしいメロディーに口ずさみリズムを取る方、涙される方。スタッフの点てた抹茶と栄養科力作のこだわりゼリー(日本酒、ワイン、カクテル、フルーツ、カレー、どら焼き、ラーメンなど)も頂き、皆様それぞれの想いに酔いしれたようです。



齋藤茂吉記念館の桜



桜の前での記念撮影

4月23日は、昨年より少し遠くの齋藤茂吉記念館(山形県上山市)でお花見する遠足コース。数ヶ月ぶりの外出に合わせたかのように朝から快晴となり気温もグングン上昇し午後には更に開花。今回は5名の人口呼吸器装着の患者様を含め12名の方とご家族、総勢50名を超える職員ボランティア参加となりました。花見団子代わりの「こだわりゼリー」でパワーアップ、車椅子を使わず散策される方。素敵な唄声をご披露下さった方。齋藤茂吉の生涯や短歌を得意気に紹介して下さい方。ご家族やスタッフとの記念写真にもこぼれるような笑顔があふれ、絶えず笑い声に包まれた空間がありました。

(文:4階師長 佐々木ゆみ子)